



宝塚さざんか福祉会法人理念

法人は、利用者一人ひとりの想いを大切にし、これを共有し、その想いが実現できるよう支援します。

職員は、職業人としての自覚を持ち、自らの資質の向上を図り、豊かな人間性の醸成に努めます。

法人は、地域と共に暮らし、地域と共に活動し、地域のコミュニティ発展に寄与します。

Contents

理事長挨拶	2P
組織図	3P
事業計画・研修計画	4・5P

2020年度新任職員紹介	6・7P
ホームページについて／編集後記	8P

困難な時こそ心を合わせて頑張りましょう。

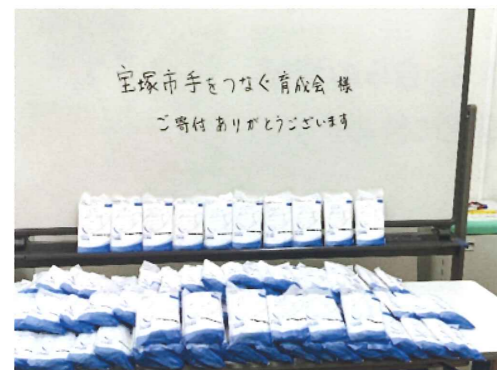
理事長 松井 美弥子

4月から、特別支援学校高等部卒業生5名の方の受け入れと、職員も新たに9名が入職しました。新しい気持ちで、頑張りたいところでしたが、新型コロナウイルスの猛威により、緊急事態宣言が発令されましたので、当法人も、4月13日よりの施設・事業所の利用の自粛協力をお願いしております。



緊急事態宣言が5月25日まで延長されたことで、長期に渡り自宅待機に協力いただいている利用者のご家族の方には、終わりが見えない不安の中、大変な思いをされておられると思います。職員も、さまざまな家庭の事情等を配慮し、協力・工夫し合いながら出勤し、感染予防等に細心の注意を払いながら現場支援を守っております。

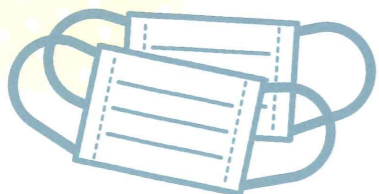
厳しい情勢の中、いろいろな協力下さっているみなさまに、あらためて心より感謝申し上げます。



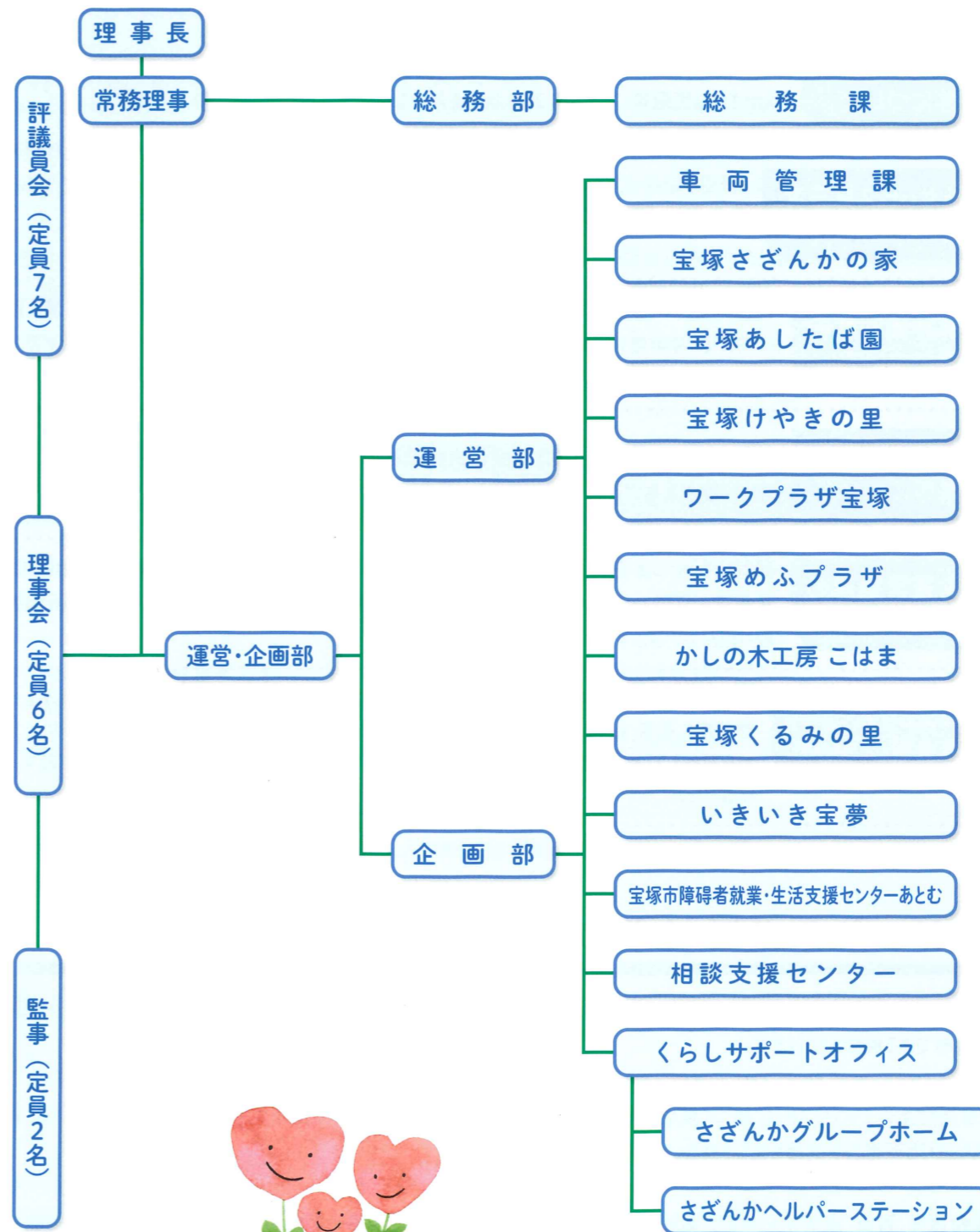
また、この緊急事態を受けて、宝塚市手をつなぐ育成会様より「感染予防に欠かせないマスクと消毒液購入等のためにと寄付金を全事業所へ」と寄贈を頂きました。入所施設とグループホームの保護者会様からも同様に寄贈を頂きました。利用者を中心において、互いを思いやる温かい心が伝わり、全職員励みになったと思います。重ねてお礼申し上げます。

ハンディある人の支援の現場は、利用者を中心において、関わる者は全てが同じ目線の高さで人として尊重し合うことが基本だと考えます。職員の皆様の使命感に信頼と期待をしております。保護者の皆様も、困難な時だからこそ心を合わせて利用者の方への支援がスムーズにいくよう、今後とも温かく見守って応援を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

令和2年5月22日



さざんか福祉会組織図



令和2年度 宝塚さざんか福祉会事業計画・研修計画

(1) 組織運営・経営体制の強化について

- ① 経営計画の推進について 「第2期宝塚さざんか福祉会行動計画」を実行していくため、「経営計画推進委員会」を設置し、抽出された課題等について、進捗状況を計りながら法人全体で取り組んでいきます。
- ② 福祉サービス第三者評価の実施について 今年度は、「ワークプラザ宝塚」「宝塚けやきの里」の2事業所が受審します。
- ③ 人事評価制度の実施について 「宝塚さざんか福祉会トータル人事システム(人事評価制度)」の令和3年度からの円滑な運用に向けて、今年度は目標シート等の作成を行い、目標面接を通して「育成・評価・処遇」が互いに関係し合う仕組みを構築していきます。
- ④ 労働環境の整備等について 「働き方改革」に関する法改正や人事評価制度運用に必要な具体的対応については、専門職との連携を基に諸規程等を改定し、労働環境の整備等にとりくみます。
- ⑤ 法人運営機能の強化に向けて 顧問会計士による毎月の監査指導で明らかになる経営課題等について、各管理者と共に、事業運営の活性化、法人運営の健全化と今後必要となる修繕等に対する積み立てを計画的に取り組んでいきます。
- ⑥ プロジェクト委員会等について 「事故防止プロジェクト」については、これまでの事故報告書等によるヒアリの積み上げや昨年度に監査・指導等があった不適切な支援や事故、ケガ等が繰り返されない、虐待防止等につながるよう「検証・改善委員会」として名称を変更し、具体的な予防、防止、改善に直結する取り組みをおこないます。また、経営計画推進委員会については、①に述べた通りです。

(2) 人材の育成・確保・定着について

- ① 法人研修計画の理念に沿って、職員個々に応じた各種研修等へ管理者が意図を持って派遣し、参加した職員が各現場で共有できる機会を設けます。
- ② 「虐待防止チェックリスト」に基づく現場点検を障害者週間(12月)にすべての事業所にて一斉に実施し、日々の支援の振り返りと不適切な支援を生じさせない現場作りに取り組みます。
- ③ 人材確保、育成、定着が一体的に取り組めるよう、大学等との連携協力を深めながら進めていきます。また、県知的障害者施設協会等の実施する就職フェア等にも職員を派遣し、積極的に計画的な人材の確保に努めます。

(3) 地域貢献について

- ① 宝塚市社会福祉法人連絡協議会等に参加し、分野を越えたつながりや連携を構築します。
- ② 地域住民等との交流や連携につながる行事等への参加や共同での開催等に取り組めます。

(4) 各事業所における取り組みについて

- ① 公益財団法人プラザコム敷地内で建設計画が進められている障害者総合福祉施設(予定)「あるでこむ」内への移設を予定している「宝塚めふプラザ」の創設に向けての協議を継続します。
- ② 老朽化が進む法人内施設の設備等に対して、国庫補助等が受けにくい状況の中ではありますが、各種助成金等を活用し、限られた財政事情と現状を鑑みながら優先順位等を再度検討し、環境改善等を行います。

職員研修計画 基本方針

- ① 宝塚さざんか福祉会の人材育成は、法人理念を基にした経営活動を実践するため、「人・組織・地域」づくりを目的とした研修に取り組んでいきます。
- ② 今年度より、令和3年度本格運用の人事評価制度に向けた取り組みが開始されます。人事評価制度による個々の「目標管理」に連動した形で、職員一人ひとりにとって効果ある学習支援等ができるよう最大限配慮し、「育成」「評価」「処遇」が連動し、意欲・能力を十分に発揮できる職場づくりにつながる研修計画を個々に合わせて策定し、実施していきます。
- ③ 特に「人権・権利擁護」につながる「援助観」「人間観」「倫理観」に関する研修を積極的に取り入れ、不適切な対応や事故を防止のための支援技術や職場倫理の向上に努めます。

2020年度 新任職員紹介

- 質問事項
- ①名前 ②出身地 ③趣味
 - ④自分を四字熟語で表すなら?
 - ⑤人生で一番うれしかったことは?
 - ⑥理想の支援者像は?(座右の銘)



- ①小林 真実 (こばやし まみ)
- ②兵庫県
- ③バンドのライブやフェスに行くこと。
- ④一長一短
- ⑤今まで嬉しかったことは沢山ありますがその中でもさざんか福祉会で内定をいただいたことと、学生の日、誕生日に友達からアルバムをもらったことです。

⑥一人一人の利用者の方を理解し、その方に応じた支援ができ、保護者の方や利用者の方に頼られるような支援員を目指したいです。また、いつも笑顔でいることを心掛けて支援していきたいです。



- ①総毛 雪矢 (そうけ ゆきや)
- ②兵庫県
- ③韓ドラを観る 音楽を聴く
- ④福徳円満
- ⑤たくさんの人に出会えたこと。
- ⑥『人は考える葦である』
柔軟性と思考力を持った賢明な支援者



- ①阪上 卓也 (さかうえ たくや)
- ②兵庫県
- ③ゴルフ 野球
- ④切磋琢磨
- ⑤前職で患者さんにありがとうと言われたこと。
- ⑥一人ひとりの特性に合わせた支援を行い、利用者様が過ごしやすい環境を作ること。



- ①津田 亮 (つだ りょう)
- ②大阪生まれ 兵庫育ち
- ③ゲーム、漫画、クイズ、アイドル、YouTube鑑賞
- ④悠悠閑閑
- ⑤専門学校時代、資格実習で失敗し、自信が無くなり、落ち込んで学校を辞めそうにまでなった時に、学校の友人が、「お前がいなくて学校つまらん」や「お前がいなければ学校に行く気無くなる」とまで言ってくれて、止めてくれたことです。当時や今、思い出だけでも心が救われる出来事や言葉でした。
- ⑥誰もが自分らしく過ごすことが出来て、居心地の良さを感じてもらえるような支援が行えるようになります。



- ①廣田 徹 (ひろた あきら)
- ②兵庫県
- ③ボルダリング ④自由奔放
- ⑤最近では新しい職場の方々からすぐに受け入れてくれたことです。
- ⑥支援者はあくまで支えであり、主役は利用者様ということ意識し、皆様の選択できることが広がるような支援を常に心がけています。



- ①河野 由良 (こうの ゆら)
- ②兵庫県
- ③音楽鑑賞、ダンス、スポーツをすること
- ④優柔不断
- ⑤ダンスやスポーツをしているとき
- ⑥支援者像:利用者さん一人ひとりに対して必要な支援ができ、利用者さんや職場の方々に関わりをされる支援員です。



- ①越智 涼華 (おち すずか)
- ②兵庫県
- ③ショッピング
- ④『公明正大』何か悪い事や後ろめたい事が起きることがとても嫌いです。何が正しいのか、どうすべきなのかを考えながら行動するように心がけています。
- ⑤さざんか福祉会に内定をいただき、いきいき宝夢に配属になったことです。力不足なところはたくさんありますが、優しい先輩方や笑顔の利用者様との日々は、すごく充実しています。
- ⑥研修などにも積極的に参加し、支援者としての意識と知識をより高め、利用者様への臨機応変な対応や理解を深め、柔軟性をもった考えの出来る支援者になりたいです。



- ①南田 葵 (みなみだ あおい)
- ②兵庫県
- ③旅行に行く事・好きなアーティストのライブに行く事。
- ④『報恩謝徳』きちんと受け取った恩や徳には報いて感謝する心を忘れないように、心がけています。
- ⑤沢山ありますが、大きな病気・怪我することなく毎日出勤できていること。それと去年の11月にずっと行きたかったハワイに行く事ができたことです。
- ⑥感謝の気持ちを忘れずに、利用者様一人ひとりのいい所を見つけ、寄り添える支援者が理想です。

宝塚さざんか福祉会のホームページ

ご覧いただけているでしょうか。

まだまだ、各事業所新しい情報を掲載しきれていませんが、行事の紹介や日常生活を紹介するようにしています。

これから、楽しいホームページを作成していきたいと思います。

みなさんの「みたよ」「おもしろかったよ」「今度は、こんなニュース乗せてほしいわ。」の一言が作る職員のモチベーションになります。ぜひ、職員に声をかけていただけると嬉しいです。



編集後記

- 今年度、新メンバーで年3回広報誌を発行、ホームページの見直しもしていこうと目標を立てました。今回は、新型コロナウイルスの関係で委員会も開けず、メールと電話のやり取りでの作成となりましたが、法人としての事業計画や研修計画を掲載させていただきました。次号は、各事業所の楽しい姿を掲載したいと思います。(上江洲 薫)
- 昨年度に続き担当させていただきます。今年度の広報誌は活動の様子や素敵な笑顔の写真等を織り交ぜ、よりわかりやすく楽しい情報発信ができればと考えております。微力ながら写真撮影等にも携われたらと思います。(片山 翼)
- 法人広報誌が昨年度より新しくなり、第1号から編集メンバーとして関わらせて頂いています。今号は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、取材をしたりメンバーで原稿案を話し合ったりという事が難しかったのですが、少しでも楽しく読んでもらえる広報誌を目指して微力ながら頑張りたいと思います。ご意見・ご感想等お待ちしております。(山川 温子)
- 今年度から担当させてもらっています。まだまだ先任の方々に頼りきりですが、担当者だけでなく、法人内外問わずのたくさんの方々が関われる広報誌になればいいなと思います。皆さんのいい顔、いい声を発信していきたいと思います。(大西 僚太)
- 今年度より担当させていただくことになりました。今まで読者側でしたが、皆さまに楽しく読んでいただけるような広報誌作りを目指していきます。また、法人の魅力をたくさん発信できるようにしていきます。(阪口 麻紀)